

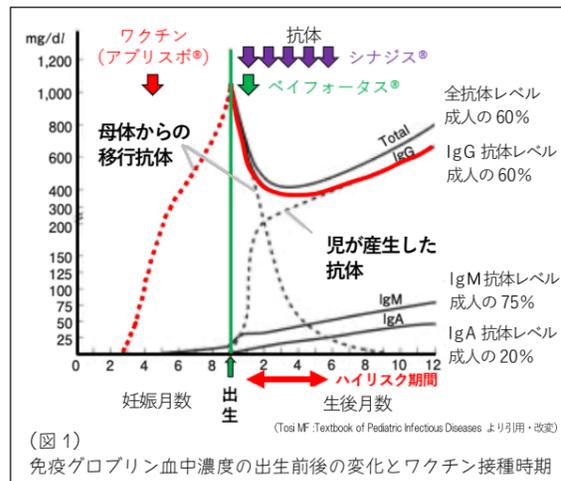


トピックス

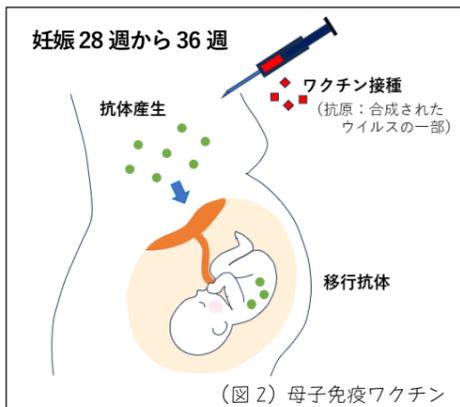
妊娠中のRSウイルスワクチンの定期接種（公費負担）開始

「RSウイルス」という名前を聞かれないことがない妊婦さんも多いのではないかと思います。子供を持つようになると、しばしば耳にする名前です。冬にかかることが多い「かぜ症候群」はアデノウイルスやインフルエンザウイルスなどによる上気道炎で鼻炎や喉の痛みが主な症状です。これに対して、RSウイルスにより引き起こされるのは下気道炎で、気管、気管支、細気管支、肺胞といった肺そのものの炎症です。当然、下気道炎は上気道炎より重症となります。子供は2歳までに100%感染します。感染した赤ちゃんの2%は重症化して呼吸管理が必要となります。

私たちは抗体によって外から侵入してきたウイルスから体を守っています。生まれて半年までの赤ちゃんは自分で抗体を十分につくることができません。この間は胎内でお母さんから胎盤を通じて受け取った抗体により体を守っています。この抗体は妊娠28週以降に胎盤を通じて送られてきますが、出生を境に来なくなります。したがって、自分で抗体をつくれるようになる生後6ヶ月くらいまでの間は抗体の量が少なくなります（図1）。この時期にRSウイルスに感染すると症状が重くなります。



RSウイルスに対する特效薬はありません。抵抗力の弱い赤ちゃんをRSウイルスから守るために、お父さん、お母さんやお兄ちゃん、お姉ちゃんが手洗いやマスクをすることはもちろんですが、赤ちゃんが持つ抗体を増やすことが有効です。2002年から早産児や心臓などの病気をを持った赤ちゃんにRSウイルス特異抗体の投与が行われるようになりました。この対策により、NICUを退院した赤ちゃんが再入院することが減りました。さらに、2026年4月から妊娠中にRSウイルスワクチンを妊婦さんに接種し、お母さんからの抗体（移行抗体）を増やすことにより正常な赤ちゃんを守る母子免疫ワクチン（3万円）の公費負担での接種が開始されます（図2）。このワクチン接種により赤ちゃんのRSウイルス感染症の重症化を7~8割減らすことができます。妊娠高血圧症候群や早産と関連するという海外の報告がありますが、我が国では大きな合併症は報告されていません。



抗体はお母さんから赤ちゃんへの最初のプレゼントです。RSウイルスワクチン接種の方法等については、担当の先生にお尋ねください。

総合周産期母子医療センター長 佐世 正勝

マタニティレシピ

旬のブロッコリーを使ったレシピです。ブロッコリーは妊娠に必要な鉄や葉酸が豊富に含まれています。



『ブロッコリーのオムレツ』

材料【2人分】

- ・ブロッコリー 中 1/2 株 (100g)
- ・玉ねぎ 中 1/2 玉 (100g)
- ・卵 2 個
- ・粉チーズ 大さじ 2 (12g)
- ・塩コショウ 少々
- ・油 炒め用
- ・ケチャップ お好みで



作り方

- ① ブロッコリー、玉ねぎをみじん切りにする。ボウルに卵、粉チーズ、塩こしょうを入れ混ぜる。
- ② フライパンに油をひき、玉ねぎ、ブロッコリーを炒める。しんなりしてきたら、①の卵液を流し入れ全体をさっと混ぜ円形に整え、蓋をして2~3分程度蒸し焼きにする*。焼き色がついたら上下を返し蓋をして、さらに1~2分蒸し焼きにする。
- ③ ②を食べやすい大きさに切り分け、器に盛る。

お好みでケチャップをかけてね

*焼き色がつかないときは加熱時間を延ばしてね

【レシピ提供】栄養管理部



センター稼働状況

分娩数	33件	緊急帝王切開	6件
母体搬送	4件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	3件	MFICU稼働率	26.8%

(令和8年2月)

『ひなまつり2026』



編集後記

ぽかぽかと暖かい日が続いています。そろそろ桜の開花も始まり、お花見の季節がやってきますね。さて、トピックスでも紹介しましたが、4月1日より「RSウイルスワクチン」の予防接種（公費負担）が始まります。妊娠28週から36週までの妊婦の方が対象です。赤ちゃんのRSウイルス感染症の重症化予防が期待できます。詳しくは妊婦健診などでご相談ください。(母子保健室)



周産期センターキャラクター マミー&メイ

by. お飾り隊